縄跳び大会の講評　　　令和５年１月２０日（金）　５限目１３：３０～１５：００

　寒い中での縄跳び大会でしたが、６年生の谷内さんが選手宣誓で「今年はうさぎ年なのでウサギのようにぴょんぴょんと跳びたいです。」と言っていたように、みんな元気にぴょんぴょんと跳んでいる姿が見られて、とてもうれしかったです。

自分の目標を達成できた人も達成できなかった人もいるかもしれませんが、今まで目標に向かって毎日頑張って練習してきたことや、本番で全力で挑戦することができたこと素晴らしかったです。みなさんとてもよく頑張りました。

校長先生は、いつも縄跳び大会で８の字跳びを楽しみにしています。縦割り班や各学年の、みんなの心が一つになり、タイミングを合わせながらと跳ぶ姿や、縄を回している高学年の「はい・はい・はい」という声かけと暖かい眼差し、跳べた時のうれしそうな笑顔、上級生も下級生もみんなの「頑張って！」という応援に感動します。今日も、鵜川小学校のみんなの思いやりの心や仲の良さをたくさん感じることができました。

縄跳びの良いところは、手軽にできる全身運動で、いつでも、狭い場所でも、一人でもできます。そして今日も代表の人が縄跳びの色々な技を見せてくれましたが、いろいろな技があるので、自分で小さな目標をきめて取り組むことができます。これからも続けていってほしいと思います。

保護者の皆様には足元の悪い中、参観していただきありがとうございました。

この後も「卒業を祝う会」がありますが、鵜川っ子の頑張っている姿を見ていただきたいと思います。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長　永草　いづみ